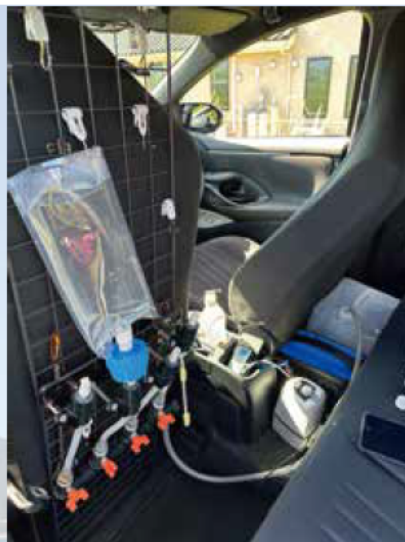


私たちヒトを含む全ての生き物は、常に自身のDNAを周囲に撒き散らしながら生活しています。この放出されたDNAは「環境DNA」と呼ばれ、これを回収・分析するだけで、その場に生息する生物を明らかにできる技術が発展しています。本講演では、環境DNAを用いた生物調査の基礎から最新研究までを幅広く紹介します。



川や海の水から生き物発見！ 環境DNAで探る水辺の生物多様性

Lecture series

- 研究の最先端 -

no.165

レクチャーシリーズでは、様々な分野で活躍する研究者にご講演いただいています。

2025年度は、3名の先生方に研究の面白さや可能性についてお話を伺います。

一緒に研究の世界へ。中高生も大歓迎です。



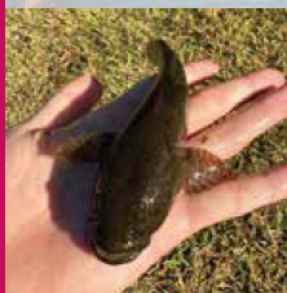
アクセス
京阪電車「出町柳駅」より
徒歩約15分。
市バス停留所「百万遍」より
徒歩約2分。
※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

2025.04.12 sat.

10:30~12:00

辻 冴月

京都大学大学院情報学研究科



皆さんは、川や海で「ここにはどんな生物がいるんだろう？」と思ったことはありませんか？実は、姿が見えなくても生物は自分の痕跡（DNA）を周囲に残しています。そのため、この痕跡を頼りに生物相を調べると、想像以上に多くの生き物が潜んでいることが分かります。さあ、一緒にその隠れた世界をのぞいてみませんか？

<会場>

ミュージラボ（総合博物館1階 自然史展示室内）

<申し込み>

不要です。直接博物館へお越しください。

※ 満席の場合はご参加いただけないことがありますのでご了承ください

<参加費>

無料です。（ただし入館の際に博物館の観覧料が必要です。）



<お問い合わせ>

京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

tel 075-753-3272 E-mail info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

URL <https://www.museum.kyoto-u.ac.jp>

画像左上車内：汲んだ水をろ過装置を用いて車内でろ過しているところ

画像右上：環境DNAの抽出

真ん中魚：ドンコ *Odontobutis obscurus*